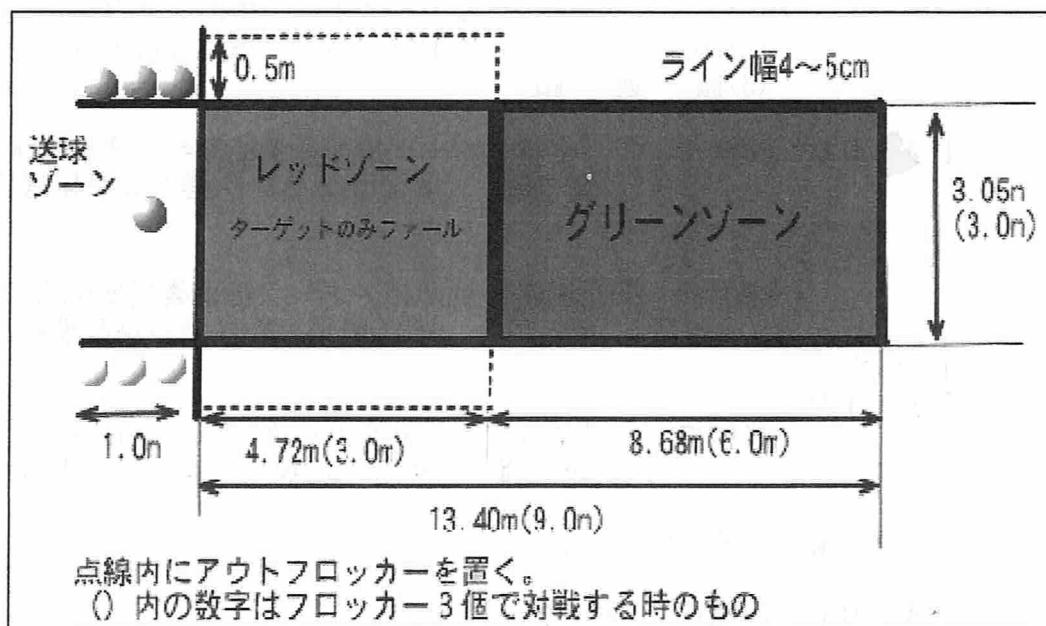
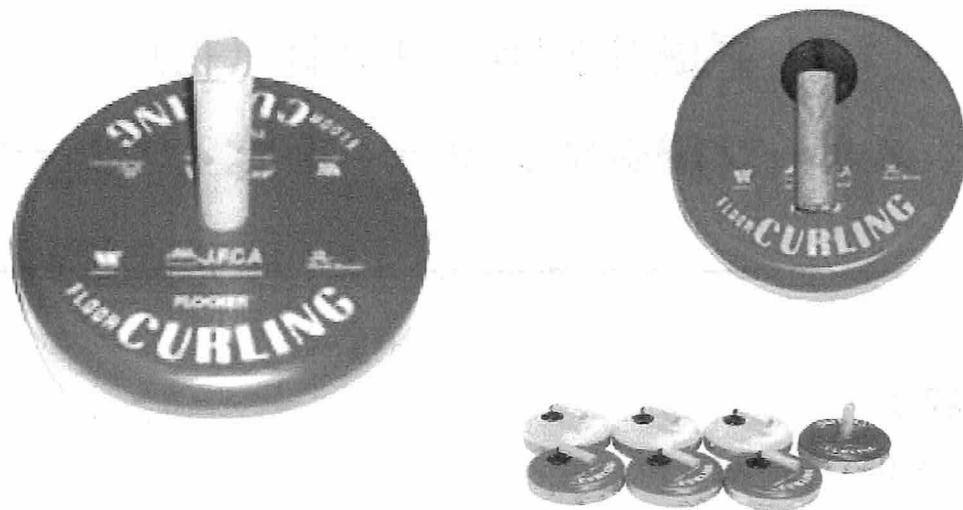


平成 30 年度 埼玉県スポーツ推進委員協議会

第2回 研修会



日 時 平成 31 年 2 月 9 日 (土) (9:30~16:00)
会 場 スポーツ総合センター (講堂・アリーナ)
(<http://www.sai-sposuikyo.jp>)

受講番号	受講者氏名	市町村名

平成30年度
埼玉県スポーツ推進委員協議会
第2回 研修会

平成31年2月9日（土）

スポーツ総合センター 講堂・アリーナ

《日程》

9:30 受付

9:45 開講式

- (1)開会のことば 埼玉県スポーツ推進委員協議会 副会長
- (2)あいさつ 埼玉県スポーツ推進委員協議会 会長
- (3)諸連絡

10:00 講座I ①「全国スポーツ推進委員協議会 鹿児島大会」報告について
講師： 埼玉県スポーツ推進委員協議会 会長

講座II ②「2019年度関東スポーツ推進委員研究大会埼玉大会」について
講師： 埼玉県実行委員会会長&役員

11:10 講座III ③「フロアカーリングの楽しみ方とルール」について
講師： 鈴木 政幸 氏（羽生市スポーツ推進委員）

昼食

13:00 講座IV（実技）
「フロアカーリングの実践」について
講師： 鈴木 政幸 氏 他 羽生市スポーツ推進委員

15:30 閉講式
閉会のことば 埼玉県スポーツ推進委員協議会 副会長

16:00 終了

平成30年度 埼玉県スポーツ推進委員協議会 第2回 研修会開催要項

- 1 趣 旨 地域における生涯スポーツ振興の中心的役割を担うスポーツ推進委員を対象に、活動に必要な専門的知識及び技術についての研修を行う。
特にニュースポーツの拡大につながる実技体験をして、理解を深め資質の向上と生涯スポーツの定着に努めることを目的とする。
- 2 主 催 埼玉県スポーツ推進委員協議会
- 主 管 事業研修委員会
- 3 日 時 平成31年2月9日（土） 9：30～16：00
- 4 会 場 スポーツ総合センター
〒362-0031 埼玉県上尾市東町3-1679 TEL：048-774-5551
- 5 参加対象 各市町村スポーツ推進委員
- 6 募集人数 約120名
- 7 参 加 費 参加費 500円（1人）
- 8 日 程 受付 9:30～9:45
① 開講式 9:45～10:00
② 講座Ⅰ・Ⅱ 10:00～11:00
③ 講座Ⅲ 11:10～11:45
昼休み
④ 講座Ⅲ 13:00～15:30
　　〈実技体験〉
⑤ 閉講式 15:30
- 9 内 容 ○講座Ⅰ ①「全国スポーツ推進委員協議会 鹿児島大会」報告について
　　講 師：埼玉県スポーツ推進委員協議会 会長
- 講座Ⅱ ②「2019年度関東スポーツ推進委員研究大会埼玉大会」について
　　講 師：埼玉県実行委員会会长&役員
- 講座Ⅲ ③「フロアカーリングの楽しみ方とルール」について
　　講 師：鈴木政幸（羽生市スポーツ推進委員）
- 講座Ⅳ ④実技体験 「フロアカーリングの実践」
　　講 師：鈴木政幸及び羽生市スポーツ推進委員

- 10 携行品 ①体育館シューズ・筆記用具 等の用意。
②昼食は食堂もご使用になれますので大変混み合いますので、
各自ご持参ください。

11 申込手続き ア 参加者は、別紙参加申込書に必要事項を記入して当該各市町村ご担当者に提出して申込みください。

イ 各市町村ご担当者は、参加申込書を取りまとめ平成31年1月31日(木)
(必着)までに、下記の事務局までEメールで申込みください。

ウ 参加費等の費用については、各市町村ご担当者がとりまとめて下記の口座にお振込みください。

*請求書が必要な場合は、申込書の備考欄請求書の宛名を明記してください。(尚、領収書はご利用明細書と致します。又、手数料は各市町村でご負担をお願いします)

エ お振込み期日 平成31年1月31日(木)

*当日不参加の場合はご返金できませんのでご了承ください

*当日現金の受付は致しませんのでご了承ください

埼玉りそな銀行	県庁支店
口座番号	普通預金 0183897
口座名義	さいたまけん す ば 一 つ すいしんいいんきょうぎかい 埼玉県スポーツ推進委員協議会

*振込の際には、トップに市町村名を明記してください。
(例:ケン〇〇シ、〇〇マチ……)

<申込先・問い合わせ先>
埼玉県スポーツ推進委員協議会事務局
TEL : 048-779-7537
FAX : 050-3737-5913
E-mail jimukyoku@sai-sposuikyo.jp

[講座 I]

別紙資料

[講座 II]

[講座III]

第59回 全国スポーツ推進委員研究協議会 鹿児島大会 開催模様

大会開催期間 平成30年11月15日(木)・16日(金)

会 場 第1日目 全体会 鹿児島県鹿児島市(鹿児島アリーナ)

第2日目 •第1分科会 鹿児島アリーナ メインアリーナ

•第2分科会 鹿児島市民文化ホール 第1ホール

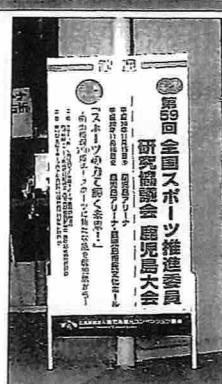
•第3分科会 鹿児島市民文化ホール 市民ホール

•第4分科会 鹿児島市民文化ホール 第2ホール

埼玉県参加者数 114名



会場正面

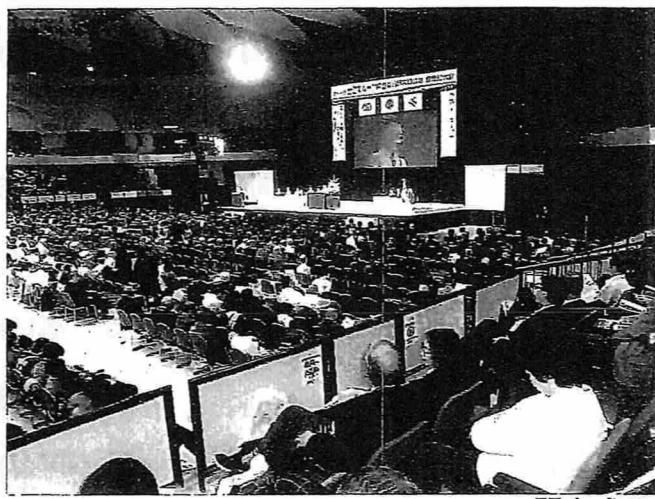


メインアリーナ会場内

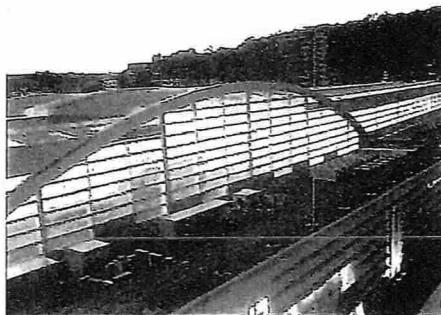




分科会会場



開会式の様子



鹿児島中央駅

第59回 全国スポーツ推進委員研究協議会 鹿児島大会 第3分科会

第3分科会
「スポーツで輝く未来を笑顔に！」
～障害者と健常者が共に実践できる
生涯スポーツを目指して～

③「スポーツを創造する能力」C

- ・石川しらゆのではなく、認め合い
- ・相手の言ふ事を尊重
- ・良いところを見つけて、お目に見えない

④「生きる力」

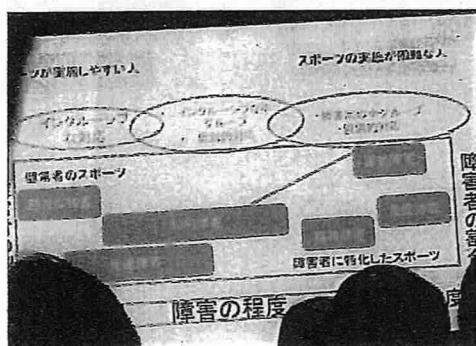
- ・自己表現力
- ・自己肯定の言葉
- ・自己犠牲の言葉、辛酸の言葉
- ・困った人のスポーツの経験
- ・パブリックスピーチ

⑤「生きる力」

- ・自己肯定の言葉
- ・自己犠牲の言葉、辛酸の言葉
- ・困った人のスポーツの経験
- ・パブリックスピーチ

⑥「生きる力」

- ・自己肯定の言葉
- ・自己犠牲の言葉
- ・困った人のスポーツの経験
- ・パブリックスピーチ

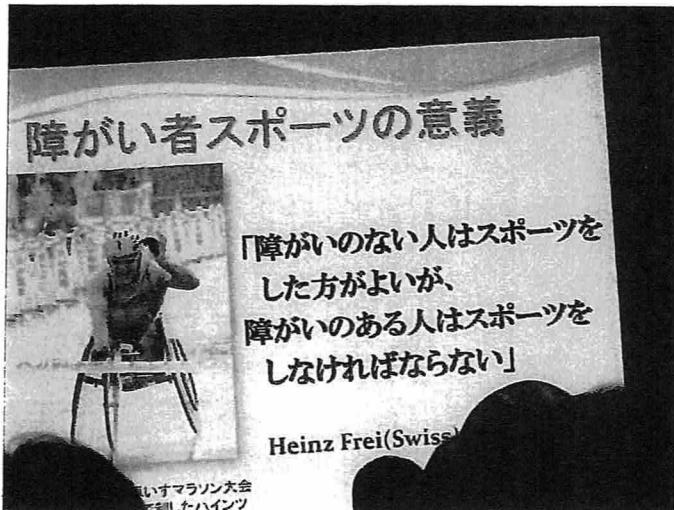


生きる力=目標をもつこと

目標をもつ
目標を達成する方法を考える
その方法を実行する
→
方法を考えて実行する

地域における障害者スポーツ振興に向けて

- ・障がい者スポーツ指導者の数
22万人から3万人
(スポーツ協会指導者・スポーツ推進委員会指導者)
- ・指導の重要性
・「団体」の提供「内容の充実・個別化」
・スポーツの意義



鹿児島空港へ



情報交換会



平成30年度 第2回 研修会参加者 名簿

2019/2/9(土)

No.	市町村名	氏名	班	備考
1 1	さいたま市	宮本 勉	男 1	
2 2	さいたま市	出口 芳子	女 2	
3 3	さいたま市	中西 正勝	男 3	
4 4	さいたま市	原田 哲治	男 4	
5 5	さいたま市	家辺 紀子	女 5	
6 6	さいたま市	西部 洋二	男 6	
7 7	さいたま市	服部 博子	女 1	
8 8	さいたま市	窪田 嘉人	男 2	
9 9	さいたま市	齋藤 年子	女 3	
10 10	さいたま市	中村 まゆみ	女 4	
11 11	さいたま市	森 満夫	男 5	
12 12	さいたま市	山崎 善樹	男 6	
13 13	さいたま市	富田 佐和美	女 1	
14 14	さいたま市	峯田 めぐみ	女 2	
15 15	さいたま市	山下 みどり	女 3	
16 16	さいたま市	石井 安	男 4	
17 17	さいたま市	栗原 浩次	男 5	
18 18	さいたま市	南藤 奈弓	女 6	
19 19	さいたま市	石川 裕子	女 1	
20 20	さいたま市	石田 吉伸	男 2	
21 21	さいたま市	出野 香	女 3	
22 22	さいたま市	櫻井 寿子	女 4	
23 23	さいたま市	田口 文枝	女 5	
24 24	さいたま市	戸沢 和美	女 6	
25 25	さいたま市	長谷山 美和	女 1	
26 26	さいたま市	真鍋 信介	男 2	
27 1	川口市	久保庭 英喜	男 3	
28 2	川口市	倉持 昇	男 4	
29 3	川口市	小椋 利之	男 5	
30 4	川口市	中道 勉	男 6	
31 5	川口市	森谷 祐二	男 1	
32 6	川口市	宮島 静歌	女 2	
33 7	川口市	石村 章彦	男 3	
34 8	川口市	須賀 寛二	男 4	
35 9	川口市	豊田 英明	男 5	
36 10	川口市	堀口 治	男 6	
37 11	川口市	小嶋 新一	男 1	
38 12	川口市	野村 勝美	男 2	
39 13	川口市	川田 大寿	男 3	
40 14	川口市	斎藤 高章	男 4	
41 15	川口市	境 久志	男 5	
42 16	川口市	田中 証	男 6	
43 17	川口市	松橋 浩樹	男 1	
44 18	川口市	浅野 啓悦	男 2	
45 19	川口市	佐藤 浩巳	男 3	
46 20	川口市	若林 昭二	男 4	
47 21	川口市	竹花 智子	女 5	
48 22	川口市	小熊 奈々子	女 6	
49 1	蕨市	岡村 増美	女 1	
50 1	伊奈町	瀧澤 和夫	男 2	
51 2	伊奈町	長岡 清治	男 3	

No.	市町村名	氏名	班	備考
52 1	所沢市	内田 哲司	男 4	
53 2	所沢市	粕谷 宏	男 5	
54 3	所沢市	鈴木 恵規	男 6	
55 4	所沢市	中村 勝子	女 1	
56 1	飯能市	大久保利昭	男 2	
57 2	飯能市	中嶋 一夫	男 3	
58 1	狭山市	新井 勝	男 4	
59 1	入間市	中林 誠一	男 5	
60 1	鶴ヶ島市	山岡 達生	男 6	
61 2	鶴ヶ島市	橋本 武	男 1	
62 3	鶴ヶ島市	中澤 博志	男 2	
63 1	日高市	松田 一彦	男 3	
64 2	日高市	町田 淳	男 4	
65 3	日高市	小川 千冬	女 5	
66 1	三芳町	矢島 敦	男 6	
67 2	三芳町	中村 孝	男 1	
68 3	三芳町	森田 和彦	男 2	
69 1	嵐山町	永島 純子	女 3	
70 1	川島町	清治 里臣	男 4	
71 2	川島町	小島 小百合	女 5	
72 1	秩父市	兒玉 清則	男 6	
73 1	熊谷市	高橋 正美	男 1	
74 2	熊谷市	藤野 美智子	女 2	
75 3	熊谷市	白根 純子	女 3	
76 4	熊谷市	原田 了輔	男 4	
77 1	深谷市	内田 由利子	女 5	
78 1	本庄市	杉山 幸一	男 6	
79 2	本庄市	須永 いみ子	女 1	
80 3	本庄市	尾山 豪寿	男 2	
81 4	本庄市	荒井 恵	女 3	
82 1	美里町	徳世 忠司	男 4	
83 2	美里町	橋本 真記子	女 5	
84 3	美里町	宮下 芳美	女 6	
85 4	美里町	吉田 はるみ	女 1	
86 1	神川町	福島 要一	男 2	
87 2	神川町	関根 綾子	女 3	
88 3	神川町	川鍋 宗生	男 4	
89 4	神川町	淺見 裕彦	男 5	
90 5	神川町	坂田 弘	男 6	
91 1	久喜市	本松 俊明	男 1	
92 2	久喜市	青木 茂	男 2	
93 1	幸手市	采谷 典子	女 3	
94 1	白岡市	甲田 侃	男 4	
95 2	白岡市	新井 あい子	女 5	
96 3	白岡市	小沼 なみ	女 6	
97 1	宮代町	新井 慶子	女 1	
98 2	宮代町	倉持 美智子	女 2	
99 3	宮代町	泰楽 恵子	女 3	
100 1	松伏町	中井 陽一	男 4	
101 1	加須市	岩崎 修一	男 5	
102 2	加須市	山田 光枝	女 6	



2019年度 関東スポーツ推進委員研究大会 **埼玉大会のご案内**

【参加申込・宿泊・弁当】



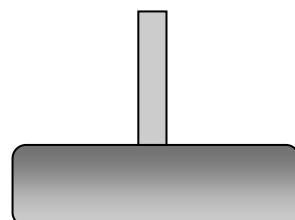
大会期間 平成31年6月7日(金)・8日(土)

1日目	全体会	大宮ソニックシティホール 大ホール
2日目	第1分科会	大宮ソニックシティホール 小ホール
	第2分科会	大宮武道館
	第3分科会	さいたま市内散策ウォーキング

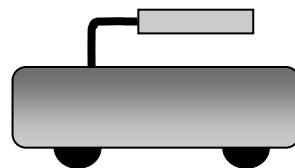
フロアカーリング ~用具の準備からゲームの終了まで~

1 用 具

ターゲット (4輪) ×1個 (グリーン)
フロッカー (3輪) ×8個または6個 (レッド・イエロー)
共に重量 2.3kg 直径24.0cm 厚み 7.3cm
メジャー (3m~5m)
スコアシート (最終ページに記載)



ターゲット



フロッカー

2 人 数

フォース (4対4) フロッカー8個使用時
トリプル (3対3) フロッカー6個使用時
ダブルス (2対2) フロッcker-8個・6個ともできます。
シングルス (1対1) //

3 場 所

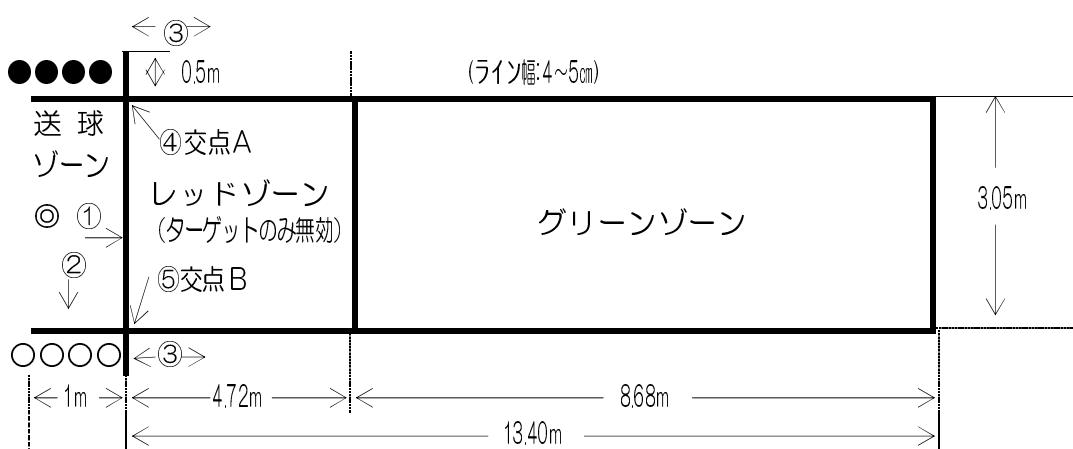
平坦な床面か、平坦で固いところ。

4 コートサイズ

幅3.05m×13.40m(バドミントンコート半分の広さ) · ライン幅4~5cm
(ただし、コート設営に余裕のない場合、コートを縮小しゲームを行ってください。)

※ ゲーム前下図のようにターゲットおよびフロッカーを配置し、ゲームを開始する際はプレーヤーの妨げにならない場所まで移動してください。

※ ゲーム開始時は レッドフロッカーをコートに向かって左側に置きます。2セット目は右、3セット目は左にと交互に移動します。（選手の移動はありません）



5 送球方法

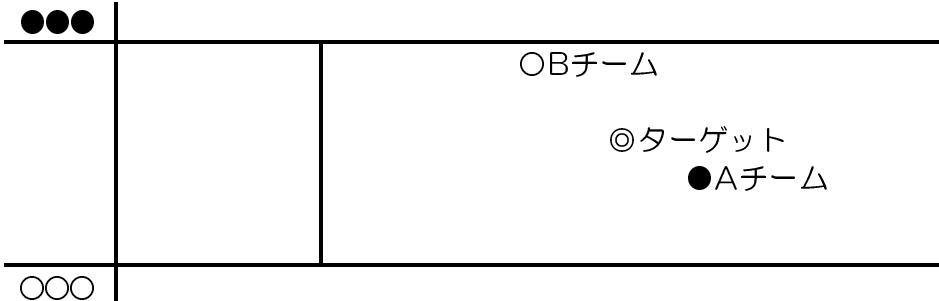
片膝か両膝を床面についた姿勢から、ターゲットもしくはフロッカー（グリップを握り）を軽くスイングさせたのち手を目標に向け押し出します。その際、プレーヤーはフロッckerが手から離れるまでの間、送球ラインに触れたり、踏み越えられませんが、送球サイドラインについては、触れたり、踏み越えてもよいです。フロッckerについては送球サイドラインに触れてもよいですが、送球サイドラインの内側（送球ゾーン側）から、交点A・Bに触れずに送球ラインを通るよう送球しなければなりません。

- ※ フロッカーには、滑走し慣性が弱まれば右か左に曲がるものがありますので、練習時にその癖をつかんでください。また、右利き、左利きによっても影響を受ける場合があります。
- ※ フロッカーのハンドルを、左右どちらかにひねって滑走させるとその方向に遠心力がはたらきカーブします。右に曲がるのをインターーン、左に曲がるのをアウトターーンといい、作戦によって使い分けます。
- ※ 送球する順番は自由とします。選手1名はターゲットの近くに立ち、プレーヤーに目標を指示することができます。

6 ゲームの進め方

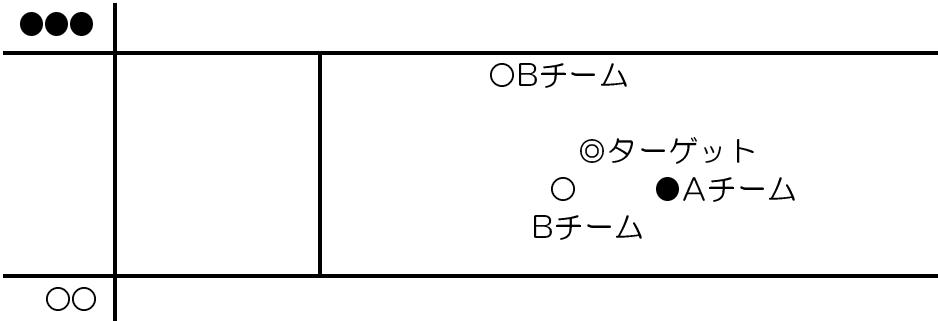
- (1) 両チームのキャプテンによるジャンケンで先攻権を決め(以後セット毎に先攻権は移動)、先攻チームの一人がグリーンゾーンにターゲットを送球します。グリーンゾーン内（オンラインは有効）に停止しない場合は1回だけ、送球をやり直すことができます。2回とも無効の場合は相手チームにターゲットの送球権のみ移り、フロッカーの送球の先攻権は移動しません。
- (2) 先攻チームはレッドのフロッカーを、後攻チームはイエローのフロッカーを使用します。
(セットごとにフロッカーは交換します)
- (3) ターゲットがグリーンゾーン内に静止した後、審判の指示で先攻チームの一人がフロッカーの送球を始めます。
- (4) 次に後攻チームの一人が先攻チームのフロッカーよりターゲットに近く停止するようにフロッカーの送球を行います。この際、後攻チームが送球したフロッカーが先攻チームのフロッカーに当たり共にコート外へ出た場合の次の送球は、出した後攻チームが送球します。（セット途中でターゲットを残し、AまたはBチームが送球したフロッカーにより、コート内のA・B両チームの全てのフロッカーがはじき出された場合は、送球したチームが次の送球を行う）
- (5) 第1投目の先攻チームのフロッカーがコート外いでた場合は、2投目を後攻チームが送球します。なお、2投目の後攻チームもコート外に出してしまった場合、3投目は先攻チームが送球します。
- (6) その結果、ターゲットに近いチームが優勢（下図Aチーム）、遠いチームが劣性（下図Bチーム）となり、次の送球はターゲットにより遠いBチーム（イエローフロッカー）より行います。（逆転するまで行う）
- ※ 同距離になっても逆転ではないため、続けて送球することになります。

6 (6) の事例



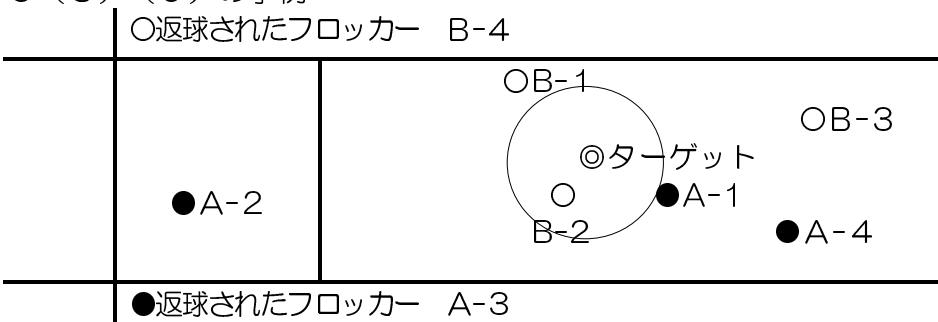
- (7) Bチームが2個目のフロッカーを送球した結果、ターゲットに近かったAチームのフロッカーよりターゲットに近づけた場合、逆転し、次の送球はAチームに移りターゲットに相手チームより近づくまで送球を行います。

6 (7) の事例



- (8) ターゲットより遠いチームAが、すべての送球を終えたが逆転できなかった場合Bチームが残りのフロッカーを送球し、そのセットは終了します。（もし、アウトになったフロッカーがあれば、審判は間違って使われることがないよう、そのフロッカーを相手チーム側に返球する）

6 (8) (9) の事例

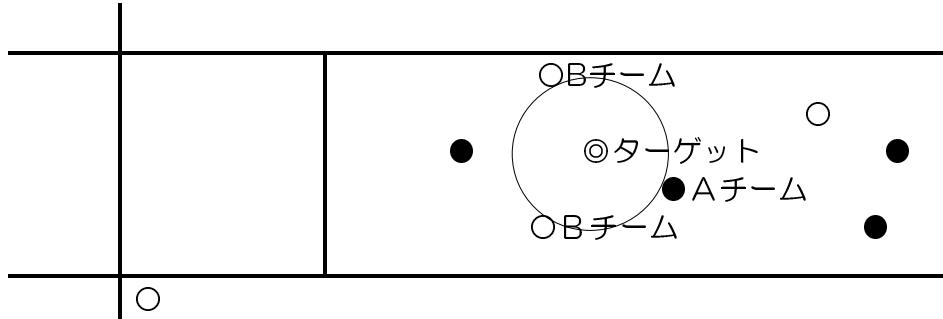


- (9) この場合の得点は（勝敗と得点の2項）、ターゲットを中心に一番近い相手チームのフロッカー（図●A-1）の内側にあるBチームのフロッカーの数が得点になります。このセットはBチームが1点獲得し、次のセットに入ります。

7 勝敗と得点

- (1) 9点先取したチームが勝ちとなりゲームを終了します。そのほか、大会の規模により勝敗の合計得点を変更したり、セット数で決めるこどもできます。
- (2) 得点は、ターゲットを中心に最も近いフロッカーのチームに与えます。ターゲットに最も近い相手チームより内側にある自チーム全てのフロッカーの個数（1個1点）がそのまま得点となります。
- (3) 送球したフロッカーが、ターゲットをコート外に弾き出した場合、そのセットは終了します。ターゲットをはじき出したチームは相手チームに2点または相手チームの未送球フロッカーの数のいずれか多い方を得点として与えます。（ターゲットをレッドゾーンに弾き飛ばした場合も同様にセットは終了します。）
- (4) 送球したAフロッカーが別のBフロッカーを弾き、そのBフロッカーによってさらにターゲットがコート外にはじき出された場合は、Aフロッカーがターゲットを出したと見なし、Bフロッカーのチームに2点または未送球フロッckerの数のいずれか多い方を得点として与えます。
- (5) A・Bチームともターゲットに最も近いフロッckerが同距離の場合は、1点ずつを与えます。また、Bチームの2個とAチームの1個が同距離の場合も優位とは認められないで、1点ずつとなります。

7 (5) の事例



8 判 定

- (1) ターゲット及びフロッカーがオンラインのときはコート内とみなします。
- (2) 送球したターゲットおよびフロッカーが、一旦コート外に出たものの、ふたたびコート内にもどり静止した場合は有効となります。
- (3) 送球したAフロッカーにより、コート内のBフロッカーがコート外にはじき出された場合、そのはじき出されたBフロッカーは無効となります。Aフロッカーはコート内に残れば有効。コート外に出れば無効となります。

9 審判の義務と権限

- (1) 競技規則が守られているか否かを監視します。
- (2) 送球の指示をします。
- (3) ゲーム中に必要に応じた距離の確認を行います。（両チームのキャプテンと共に）
- (4) 得点の確認を行います。（両チームのキャプテンとともにを行い、サインをもらう）
- (5) 勝敗の決定を行います。
- (6) ゲームがスムーズに行われるよう進行します。

10 競技上・審判上の注意

- (1) 選手の整列、挨拶、握手、ジャンケンは、送球ゾーン内で行うこと。
- (2) 送球の指示は、腕を水平に上げて両方のチームに分かりやすく行うこと。
- (3) 距離の判定以外は、コート外に立ち送球等の指示をすること。
- (4) アウトフロッカーの処理について、事前に両チームに協力を依頼すること。
- (5) 審判員が一人の場合、事前に距離の測定時には両チームキャプテンに協力してもらう旨依頼すること。
- (6) フロッカーの送球時は、グリップを握ることが基本だが、安定した送球ができない場合、フロッカーボディに触れて送球することを認めること。

スコアシートの例 □はレッドフロッカー（各セットの先攻）

予選・決勝 ダブルス・フォース		大会 審判 / ブロック					第	試合	コート	No.
チーム名	セット	1	2	3	4	5	17	延長	得点	キャプテンサイン

対戦チーム _____ 対 _____